

半期ディスクロージャー誌 令和3年度

(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

JAありだのご案内

JAありだは、「有田みかん」と「農業」を核に
元気な地域社会づくりに貢献します。



ありだ農業協同組合

〒643-0032

和歌山県有田郡有田川町大字天満47-1

TEL 0737-53-2311 (代)

I. 地域社会貢献活動

当組合は、有田市・有田郡を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

(1) 組合員の数 (単位：人)

資格区分		令和3年9月末	
正組合員	個人	7,924	
	団体	農事組合法人	6
		その他の法人・団体	17
准組合員	個人	8,792	
	団体	農業協同組合	-
		農事組合法人	2
		その他の法人・団体	62
合計		16,803	

(2) 出資口数 (単位：口)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
正組合員	1,558,023	1,551,596	1,578,235
准組合員	596,251	532,280	530,001
処分未済持分	-	8,487	-
計	2,154,274	2,092,363	2,108,236
(摘要) (1) 出資1口金額：1,000円			

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金残高・・・220,672,733千円

(2) 貯金商品の概要・・・すこやか定期貯金、グリーン定期積金、年金予約定期貯金、子育て応援定期貯金、ゆとり定期積金、相続専用特別定期貯金、等

2. 地域への資金供給状況

(1) 貸出金残高・・・組合員等 13,447,281千円
 地方公共団体 2,102,261千円
 その他 222,532千円

(2) 制度融資取扱い状況・・・農業近代化資金 163,850千円

※地域農業の基本構想を踏まえ担い手の育成と地域農業の振興に資する農業者の資金ニーズに対する相談に応じています。

(3) 融資商品の概要

農業資金・・・農業近代化資金、生活営農資金、営農ローン、農業振興資金、農業法人応援ローン、新規就農応援資金等

生活資金・・・カードローン、教育ローン、マイカーローン等

住宅資金・・・住宅ローン、リフォームローン等

3. 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 高齢者福祉活動

- ・介護保険事業・高齢者生活支援事業を軸として、高齢者が安心してゆたかに暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。

訪問介護事業

- 平成12年4月1日 J Aありだ清水訪問介護事業所が事業開始
- 平成12年6月1日 J Aありだ訪問介護センターが事業開始
- 平成30年10月1日 清水訪問事業所を J Aありだ訪問介護センター清水出張所として事業開始

居宅介護支援事業

- 平成13年5月1日 J Aありだ居宅介護支援事業所が事業開始
- 平成25年8月1日 J Aありだ居宅介護支援事業所を J Aありだ清水ケアプランセンターと改称
- 平成25年8月1日 J Aありだケアプランセンターを本所に開設

福祉用具貸与事業

- 平成17年10月1日 J Aありだ福祉用具貸与事業所が事業開始

福祉用具販売事業

- 平成18年5月1日 J Aありだ特定福祉用具販売事業所が事業開始

高齢者生活支援事業

- 平成18年6月1日 高齢者生活支援事業を開始

- ・職員の「認知症サポーター養成研修」の実施により、在職職員349名が受講済み。

(2) 健康活動

- ・普通救命講習 在職職員234名受講済み。(管内事業所9か所にAED設置)

(3) くらしの活動

- ・将来を担う次世代層の子どもたちに、生きることの最も基本的な要素である「食」と、それを支える「農」について、体験し、学ぶ「食農教育」を重要な取り組みとして位置づけ、食の大切さや農業の役割等、理解を深める活動を展開しています。

【管内小学校へのさつまいも苗の提供】

さつまいも苗を19校に提供しました。

【管内小学校への「出前授業」】

申込みのあった9校に対して、「地元の野菜を使ったピザ作り」「山椒入り棒ギョウザ」「スイートポテト」「みかん大福」などの出前授業を行いました。

- ・「J Aありだ女性会」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大人数での活動を自粛しました。そのような中、感染予防対策をしながらの支部活動や、SNSを活用した活動にも取り組んでいます。

- ・青少年の育成活動として9月中旬から11月中旬にかけて、第17回 J Aありだ共済杯学童軟式野球大会(参加：Aクラス11チーム・Bクラス11チーム・Cクラス6チーム)を開催しました。

- ・各支所における地域貢献活動として、登校時の交通安全指導や「子どもを守る日」への参加、ペットボトルキャップ・プルタブの回収、献血の協力、高齢者見守り活動、地域の清掃活動、資源ごみ回収・廃品回収、組合員・地域住民に向けて支所報の発行等を行いました。

- ・「買い物困難者」といわれる人々の生活支援をはじめ、地域における“見守り隊”的機能の役割発揮に主眼を置いた「J A移動購買」に取り組んでいます。

- ・管内一市三町と協定し、高齢者等の見守り協力事業所として、事業活動における訪問時や日常業務において、高齢者等の異変のサインに関心をもち注意を払う「高齢者等の見守り協力」に取り組んでいます。

(4) 情報の提供

- ・営農経済渉外担当者の配置を行い、情報提供と相談活動に取り組んでいます。
- ・携帯メールを媒体とし、営農に関する情報を主体に配信しました。
- ・組合員を対象に広報誌「大きな輪」、地域住民を対象にコミュニティ紙「こんにちはJAです」を発行し、「食と農」「JA」の認知度向上に取り組めました。
- ・各支所それぞれが、支所協同活動の様子や地域の情報など、趣向を凝らした「支所だより」を発行しました。
- ・ホームページを中心にInstagramやフェイスブックなどSNSを通じ、JAの取り組みや有田みかんを中心とした農作物や地域の魅力など、積極的に情報発信しました。
- ・公式Instagramの中で『こんなときこそ有田』をテーマに、「JAありだ『有田映え』コンテスト」を実施し、有田地域の魅力を発信することでJAファンづくりに取り組みました。

(5) 暮らしの相談活動

- ・法務・税務の専門家による総合相談会を開催しました。

(6) 利用者ネットワーク化への取り組み

- ・JA共済こどもクラブの取り組みとして本年度は、会員募集のみ実施し、会員全員へ育児用品を贈呈しました。

(7) 安全・安心なブランド産地への取り組み

- ・各種広報や研修会及び店舗窓口において、農薬の適正使用・環境への配慮の周知徹底を行いました。
- ・出荷前の生産履歴記帳、確認等の指導・推進を行いました。
- ・不要となったプラスチックコンテナ、農薬使用済容器、肥料空袋等の回収処理を行いました。

II. 財務状況や事業に関する取り組み

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位：千円)

債権区分	令和3年9月末	令和3年3月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	107,928	115,543	▲ 7,614
危険債権	127,971	133,259	▲ 5,288
要管理債権	5,297	-	5,297
正常債権	15,551,024	15,379,836	171,188
合計	15,792,222	15,628,639	163,582

注1 令和3年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

- ① 各債権区分額は、令和3年3月末時点の債権額を基準として、令和3年9月末時点の残高に修正しています。
 - ② 令和3年3月末から令和3年9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
- 2 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「正常債権」についての対象債権は、信用事業与信額で、また「要管理債権」の対象債権は貸出金です。
 - 3 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、自己査定における破綻先、実質破綻先のうち信用事業に係る総与信（貸出金、貸付有価証券、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金）で法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
 - 4 「危険債権」とは、自己査定における破綻懸念先のうち信用事業に係る総与信で、経営破綻の状況にはないが財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。
 - 5 「要管理債権」とは、自己査定における要管理先のうち3か月以上延滞貸出金および貸出条件緩和貸出金です。
 - 6 「正常債権」とは、上記2～5以外の信用事業に係る総与信です。

2 単体自己資本比率

令和3年9月末（推計値）	令和3年3月末
12%程度	12.00%

注1 9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和3年3月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、9月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット額を令和3年3月末の信用リスクアセット額に加減し算出しています。

3 信用事業における主要勘定の状況

(単位：千円)

	令和3年9月末	令和3年3月末	令和2年9月末
貯金	220,672,733	223,884,795	214,943,147
貸出金	15,772,075	15,609,809	16,045,156
預け金	194,060,907	197,695,927	186,769,515
有価証券	3,499,873	4,099,810	4,699,734

4 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区分	令和3年9月末			令和3年3月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	3,499	3,537	37	4,099	4,153	53
その他	-	-	-	-	-	-
合計	3,499	3,537	37	4,099	4,153	53

注1 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2 取得価額は償却原価法適用後、減損処理前のものです。

◇金融商品の勧誘方針

当組合は、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘にあたっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまに対して適正な勧誘を行います。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. 電話や訪問による勧誘は、組合員・利用者の皆さまのご都合に合わせて行うよう努めます。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。
6. 販売・勧誘に関する組合員・利用者の皆さまからのご質問やご照会については、適切な対応に努めます。

平成20年7月28日

ありだ農業協同組合